

高田研究室 & 産学連携

高田研究室ではグラスレス 3D を活用した臨場感ある立体映像コンテンツの制作と開発を産学連携で行っている。今回は株式会社 Too (デザイン業界の専門商社) の協力を得て Reallusion 社最新の Character Creator 3 Pipeline EU 版の提供をうけました。これにより高田研究室で DCEXPO2018MC の”有野いくさん”をモデルにしたキャラクターを作成し、現在主流となっているゲームエンジンの Unity 上でインタラクティブな動作を可能にし且つ GlassLess- 3 D Display(メガネを使用しないでも直接立体に見えるモニター)に表示できるシステムを株式会社たしてん、及び株式会社ギヤマンの産学連携協力を得て実現することができました。

以下画像①は動作する iclone キャラクターの作品「」と②同じく般若の面を GlassLess- 3 D Display で鑑賞できるように制作した、ややアートの作品「能燃ゆる」のストーリーミング作品、及び③ゼミ生武藤拓海君によるボリュームレンダリングの GlassLess- 3 D Display 実験「Melt Down」です。

